



かけはし

7月2日（木）に全校集会を開催しました。1学期のまとめの時期でもありますので、これまでの自分たちの学校生活を振り返るとともに、これからの学校生活をもっともっと良くしていこうという意識を高めることをねらいとしました。

3人の先生が話した内容を要約して紹介します。

学校をきれいに

6年生と1年生の児童を見比べてみましょう。どこが違うでしょう。体の大きさが違いますね。でも、それだけでしょいか。体だけでなく、実は目に見えない心の部分でもずいぶん違っているんですよ。6年間のうちに、体も心も大きく成長するのです。

ところで、1年生のみなさんは、6年生のお兄さんやお姉さんは好きですか。

（全員、好きと手を挙げる。）

どんなところが好きですか。

（やさしい、遊んでくれる、給食を配ってくれる等）

このように下級生は、上級生の行動や後ろ姿をよく見えています。特に6年生は学校の中心であり、責任の重い仕事を任されています。下級生の見本となる行動に期待しています。まず、その一つとして、今日は掃除について考え、今日からの実践に生かしましょう。

この後、『家庭や学校の玄関はなぜきれいにするのか』と問いかけ、掃除の意味や意義、高学年としての責任などについて考えました。そして、この五條小学校を巣立っていった多くの人々が、美しい学校になるように努力してこられたから今の五條小学校があること、ほうきなどの道具を正しく使い、全校児童みんなが協力して美しい五條小学校になるようにしていくことを確認しました。

私たちの「笑い」はどんな笑い？

H A H A H A H A …

ローマ字で読んでみましょう。「はははは…」という笑い声になりますね。では、「A」の文字の左右に点をつけてみます。

H ` A ´ H ` A ´ H ` A ´ H ` A ´

何となく人の顔が並んでいるように見えませんか？でも、笑っている人の顔にしてはちょっと冷たい感じがします。この人たちの「笑い」は、どんな笑いなのでしょう。

誰かの失敗をからかう笑い、弱い立場の人をバカにする笑い、誰かを仲間はずれにし集団でせめたてる笑いのよう見えませんか。笑いの中には、人の心を傷つける不愉快で恐ろしい性質のものがああります。さて、みなさんの周りにある笑いはどうでしょうか。

心からうれしいとき、満足感を得たとき、友との絆を実感できたとき、そして、誰かを幸せな気分にしてあげられたとき、思わずあふれ出る歓喜の笑い。そんな笑顔につつまれて生活できればステキですね。

「A」の文字をくるとひっくり返してみましょう。

H ´ ▽ ` H ´ ▽ ` H ´ ▽ ` H ´ ▽ `

はい。やさしい笑顔になりました。

こんなやさしい笑顔がいっぱいあふれる、安心できる学級、あったかい学級、やる気になれる学級をつくっていきましょう。

ひとは？

私たち人は、犬や他の動物にはないすばらしい力を持っています。さて、その力とはどんな力でしょう。

人は、誰でも失敗をします。まちがいをおかすこともあります。だけど…

人は、自分のまちがいに気づき、それを直すことができるのです。自分で考えて、自分をより良い人間へと変

ご意見ご感想をお寄せください。

えていくことができるのです。言い換えると、同じ失敗を何度も繰り返しているようでは、人としてはちょっと情けないのかもしれません。

人は、誰かに対して腹を立てることもあります。けんかもします。けど…

人は、相手のことを思いやり、相手の立場に立って考えることができます。だから、がまんすることもできるのです。腹が立つから、気に入らないからといって、平気で相手の嫌がることをしたり、相手を傷つけたりすることは、人として恥ずかしいことだと思わなければいけません。

人は、命が一つしかないことを知っています。また、ものを見て美しいと感じたり、すばらしいと感じたりする心、感動する心をもっています。だから…

人は、自分や人の命、周りで生きているものすべてを大切にすることができるのです。自分の命や人の命を簡単に奪ったり、自然を簡単にこわしたりすることは、人のすることではないのです。

人は、家族や学校、地域社会など集団の中で生きています。だから、自分のことだけでなく、みんなが気持ちよく生活できることを考えなければいけません。自分勝手な人ばかりだと、この世の中はどうなるでしょう。そのことがよく分かっているから…

人は、約束やきまりを守ることができるのです。約束やきまりを守れない人は、自分のことしか考えていない人なのです。みなさんはそんな自分勝手な人として生きていきたいですか。

他の動物にはない、人だけが持っている力が分かりましたか。みなさんは、人として生まれてきました。人として生まれてきたからには、また、これからも人として生きていくためには、人として大切な心や態度を育てなければいけません。自分の中に人として大切な心や態度が本当に育っているか、もう一度自分を見つめ直してみましょう。

ご意見ご感想をお寄せください。

子どもの感想から

○私は、1年生にあまり6年生らしく接してあげてないと思いました。分団登校のときも、話しかけずスタスタ歩いていってしまって、いい6年生と思ってくれているのか不安になりました。だから、これからは、胸をはっていい6年生と言えるように頑張りたいです。

二つ目の話で、「いい笑い」と「ばかにする笑い」の2種類があることを知りました。私は、本当に楽しくて笑うときと、人をバカにして笑うときの両方があります。だから、これからは、どちらも楽しくなる話をして、思いつき「いい笑い」をしたいです。そして、本当の友達とは、体や心を傷つけられず、一人にされないことだと知りました。私は、よくたたいたり、いらんことを言ったりするので、それは相手にとってどう感じるのかなのかを考えていきたいと思います。

三つ目の話では、人は、人にしかできない力を持っていることを知りました。それは、相手の立場に立って考えること、命は一つしかないを知っていることなどでした。よく、「自分がされたらどう思うかを考えなさい。」とか言われるのに、あまり実行せず、また意識もせずに毎日を送っていると思いました。ふつうに、痛いことをしたり、いやなことを言ったりしていた自分が恥ずかしいと思いました。命も大切にしていこうように、これからも頑張ろうと思いました。

○私は、全校集会で、1年生は6年生の態度・行動などを見本にして生活していることや、人はまちがいに気づいたらそれを直すことができることなど、いろいろ先生方に教えてもらいました。私自身、1年生の見本になれるような態度や行動になっていないと思うので、これからは気をつけ、1年生などの見本になるようにしたいです。それと、人はまちがいに気づいたらそれを直すことができるなどの話を聞いて、人は変われるんだと思いました。

私は、今日の全校集会のことを忘れないようにしたいです。

○本当の友達とは何だろう。先生は、まちがいを注意し、正しい道へ導くのが本当の友達だと言う。ぼくも、先生が言ったことは正しいと思う。でも、ぼくはそれができていない。だから、この話を聞いて本当の友達をつくりたい。そのためには、自分が本当の友達にならないといけないと先生が言っていた。それを聞いて、あらためてそうだなあと実感した。だから、本当の友達を一人でも多くつくりたいと思った。